

図1 2001年芸予地震後の産総研地下水観測網における地下水位変化の増減の分布を示した図。★は芸予地震の震央，細い線は活断層を示す。INCREASEが増加，DECREASEが現象，VIBRATIONが振動，NO RELIABLE DATAは判断できるデータがないことを示す。

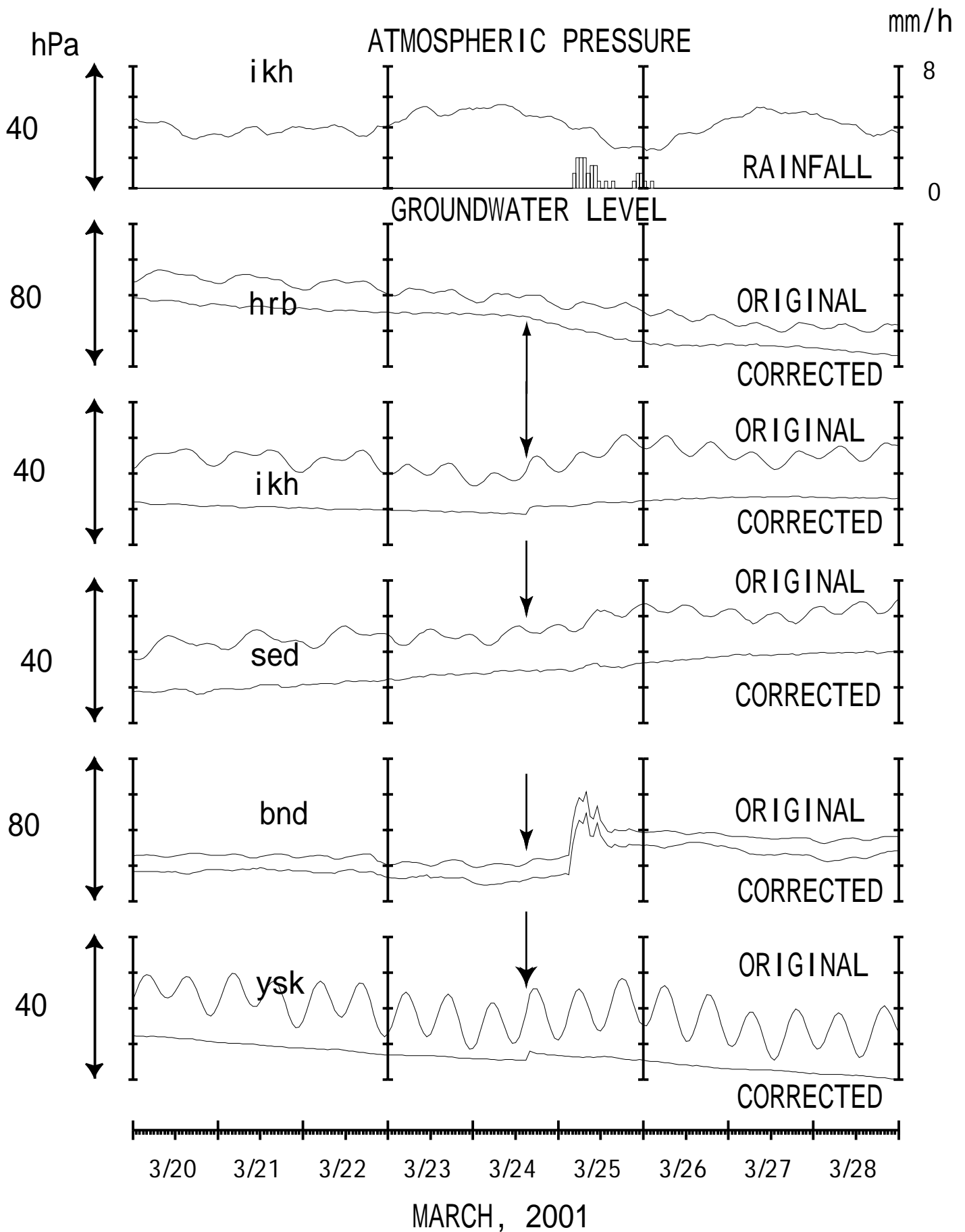


図2 2001年芸予地震前後の地下水位変化の一例．2001年3月20日～28日までの毎時の変化を示す．ikh,hrb,sed,bnd,ysk等は観測点の名前（図1参照）で，hrb,ikh,yskに地震時の変化が認められる．bndの3/25未明からの変化は雨によるものである．ATMOSPHERIC PRESSUREは気圧，RAINFALLは雨量，GROUNDWATER LEVELは地下水位，ORIGINALは元のデータ，CORRECTEDは補正したデータのことを示す．矢印は、地震の発生時を示す．

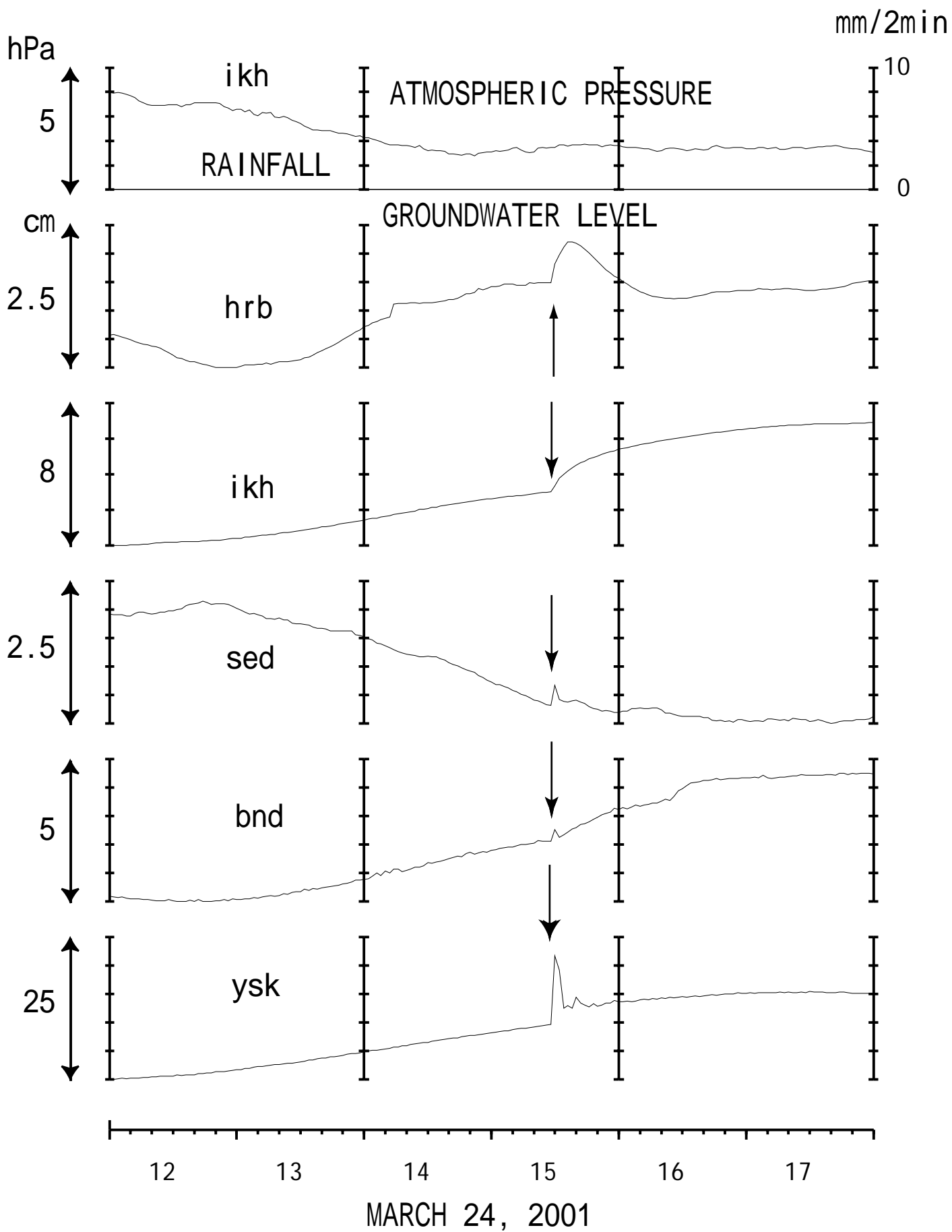


図3 2001年芸予地震前後の地下水位変化の一例．2001年3月24日12時～18時の2分毎の変化を示す．場所は図2と同じ．データは元のデータのままで補正はしていない．矢印は、地震の発生時を示す．

参考文献

小泉尚嗣・北川有一・高橋 誠・佐藤 努・松本則夫・伊藤久男
・桑原保人・長 秋雄・佐藤隆司，2001年芸予地震前後の近畿地
方およびその周辺における地下水・地殻歪変化，地震2，55，
119-127，2002.10.